



だより



ホンダ・フライング・クラブ

修了証書を載いて

杉田政男

1月も末の31日午後4時30分、セスナ206F型、JA3729は桶川基地をテイクオフして、仙台へと出発した。乗組員は近藤教官と吉沢さんそれに私と3人である。機は上昇100マイルでぐんぐん上つて行く、馬力の強さと、速さを感じる。夕日を後にして、百里基地へ機首を向ける。高度3000フイート、140マイルである。思えば自家用ライセンスをもらつてから早や5年目に入つた。その間、技倆保持だけは何とか保ちつつ適当に訓練又は年に2、3度は仲間と、北海道、四国、東北等日帰り、又は一、二泊で野外飛行をして楽しんでしたが、遠くへ行く程に、又飛行時間が多くなるに従つて、計器飛行訓練が必要である事を、どうしても考える様になり、一年位前に計器訓練を始めた。始めのうちは、機の安定がうまくいかなかつたがだんだん安定して、テイクオフより、ファイナルまで1時間～2時間位迄、目かくし帽子をかぶつても上下しなくなつた。フォーミング、VOR進入、ADF等訓練する程に奥が深いので、頭が痛くなり、止めたくなる程であつた。おこられおこられ何とか基本教程は完つた。始めは、どこまで続くかと思つたが、何とか続けている内にやはり我々老年組は(自分では若い気のもりでいたが)体で覚えてゆくしかないとおきらめた。そして野外飛行に出るたびに、益々計器飛行の必要性を感じつつ又訓練を続

けていった。今日の訓練はその最終テストである。

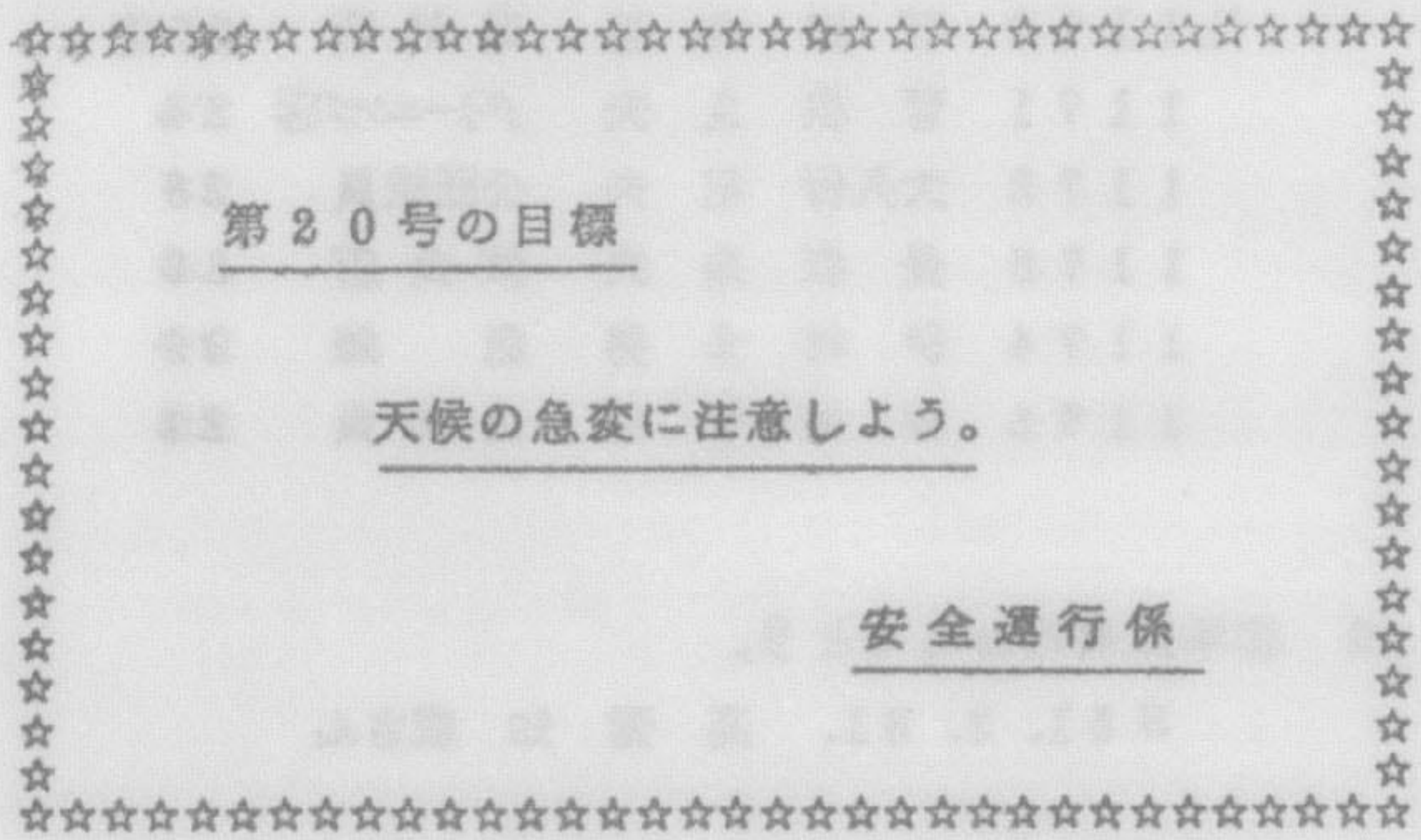
機は、百里基地を経て、水戸を通過しいつの間にか、海上に出ていた。初めの機長は吉沢さんである。機にはミクスチャー、とスロットルの他に、もう一本可変ピッチ用レバーがありプロップと呼ぶが、なれる迄気を使う。

日立上空で西の空が赤くなり、小名浜で日が沈んで行つた。やがてあたりは暗くなり、伊ワキ上空では夜となり、そして街の燈が輝きを増して来た。だんだん雲が拡がり仙台近くになつて雲に入った。バラバラと窓に水滴が当る。何も見えない。本物の計器飛行になつてしまつた。少し不安である。タワーと交信して機を雲の下まで降ろしてもらおう。3000フィートで雲の下に出た。海と空が区別がつかない月明りもなく、かすかに停泊中の船の燈火が見える。あたりは真暗で、遠くの方に仙台の市街が見える。ここでプロペラが止つたらと余計な事を考えるのは私だけだと思うが……。もうGCAアプローチILS着陸訓練は、始まつている。タワーとの交信も、いそがしくなり我々の耳では一寸、聞きもらす所があるが、教官に通訳してもらい乍ら、機は右へ、左へ、タワーの云はれるままに飛ぶ。高度も降りて行く、そして最後の左り廻りで、ILSが働いて、ファイナルラインに乗せる。これも初めての経験である。ILS計器を見ながら機を計器に合わせるのもむずかしいが、何とかパス角に乗りつつ海上よりRW 27に向い進入する。滑走路燈が明るく輝き、真直にくんぐん近づいて来る。何

とうまい計器があるではないか。その内に、機内のランプが点滅して、ブザーも鳴り出した。ビツクリしたら、これは滑走路線上のミドルマーカを通過したとの信号との事、目の前には滑走路が大きく口を開いている。バシスにも正しく乗っている。機はゆつくりと着陸した。そして吉沢さんと私は2回ずつ4回の夜間GCAILS着陸訓練をしてニューターミナル前で、エンジン・スイッチを切つたのは空港終了時間5分前の7時25分であつた。手続をすませて宿へ行く時には、空港は誰れもいなかった。

翌朝10時、テイクオフ 今度はVORアプローチILS着陸訓練である。同じく2回ずつ計4回TGLをする。やはり夜間より昼の方が気分的にも良い。仙台空港に別れを告げ、再び計器飛行にて帰途に着く。機は快音を響かせ乍ら、桶川基地に帰つて来た。時に午後1時であつた。有視界飛行と計器飛行の両方の基本訓練を覚えて置けば鬼に金棒だと思ひます。今度の訓練で、2重も3重にも安全に出来ているシステムには全く驚ろき感心する次第です。野外飛行に出ても、自信がつき、安心感が出て益々楽しさが倍加される事になります。しかしこれからは本物の国家試験の計器を取得するために、又楽しみと倍の苦しみが当分の間続きそうです。自家用の試験を取つた時の気持を再び思い出して……。

完りに本教程を指導して戴いた中本教官、矢野教官他諸教官に厚く御礼申し上げます。



第 2 0 号の目標

天候の急変に注意しよう。

安全運行係

※ 新入会員の方です。よろしく

No.1157	吉 田 紀久夫	会社役員	35才
1158	松 沢 進 吾	会 社 員	41
1159	吉 村 峰 雄	’	30
1160	松 本 裕 男	自 営	48
1161	山 田 浩	学 生	20
1162	浅 倉 真 司	’	21
1163	高 橋 忠 俊	会 社 員	20
1164	小 堀 朝 俊	接 骨 師	49
1165	稲 村 正 樹	医 師	39
1166	源 一 秀	会社役員	26
1167	前 坂 清 宮	会 社 員	26
1168	牧 野 盤	’	35
1169	三 浦 敏 明	会社役員	39

No1170	石田良達	電気店	35才
1171	菅根良夫	クリーニング店	24
1172	大久保紀夫	公団職員	28
1173	長坂秀夫	飲食店	29
1174	伊村公男	医師	39
1175	塚越啓雄	公務員	29

※ 初単独飛行おめでとろ。

S51. 3. 31. 高鷲知成さん

※ 練習許可書が切れます。準備して下さい。

関	昭二	S51. 5. 5まで
田	吉郎	5. 19
沢	暁男	5. 19
中	功	5. 12
和	啓嗣	5. 19
近	新一	5. 19
平	元	5. 26
藤	信夫	6. 2
飯	親明	6. 9
城	重敏	6. 16
水戸部	啓一	6. 23
清水	正司	6. 23

※ 実地試験合格おめでとう

3 / 28	自家用操縦士	名 嘉 武 夫
8 / 24	・	平 賀 良 彦
4 / 16	・	小 池 照 造

◎ 講習会予定日

一般講習

月 日	課 目	月 日	課 目
5 / 7 (金)	空 中 操 作	6 / 8 (木)	実地試験口頭
12 (水)	実 地 口 頭	8 (火)	ATC (ボイス)
14 (金)	航 法	11 (金)	航 法
19 (水)	計 器 飛 行	16 (水)	航 空 法
21 (金)	A T C	18 (金)	空 中 操 作
25 (火)	航 空 法	24 (木)	工 学
27 (木)	気 象	25 (金)	気 象
		30 (水)	計 器 飛 行

特殊無線講習

5 / 1 (土) 5 / 8 (土)

※ 場所・時間

本田航空クラブ・ハウス 18:00~21:00まで





ある時 ある時

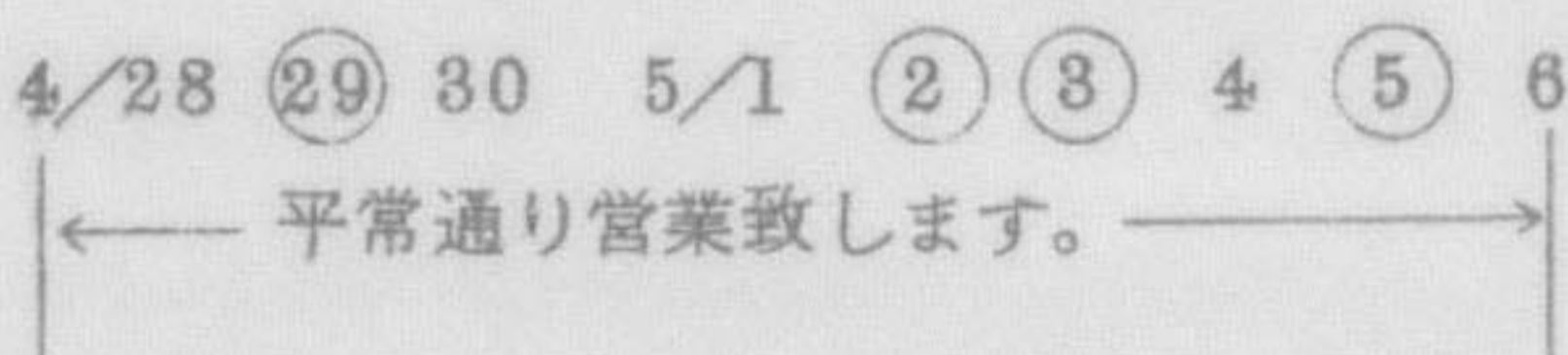


春のうららかな日 飛行訓練中のタンデム式の飛行機
JA32××機

- 教官(後席) …… オーイ、何か感じないか
訓練生(前後) …… 何となく煙の中に入ったような感じ
です。ひどい「ヘイズ」ですか？
教官 …… コツクピット スモーク(機内発煙)だ。緊急処置
をとるんだ。
訓練生 …… ハイ メイデイ メイデイ …… メイデイ ジイスイズ
……………(立て板に水の如くまくしたてる)
教官 …… マイクボタンを押してしゃべったか？
訓練生 …… いいえ 訓練ですから、教官もタバコの煙を出して
からやるとは手が込んでますねエー
教官 …… バカツ、ホンモノダ、オイルが吹き出して燃え
ているんだ、キャビンヒートを切れ、小窓を開
け、飛行場に向けろ、オイルテンプーを読め、
訓練生 …… ハハハアー イイイ ……
教官 …… 緊急通信をやるんだ
訓練生 …… メツメツメツメツデー ジイスジイスジイス …… あの
お …… ジイス ……
教官 …… バカだよ おまえは

◎ 社内ニュース

- さて本年もいよいよゴールデン・ウィークが近づき、みなさまいろいろ楽しい計画を立てておられると思います。当社ではゴールデン・ウィークを下記のように運行致します。この期間は、スケジュールがこみあいますのでなるべく予約して御利用下さい。



- S 5 L 4 より運行課教官として谷脇守が入社致しました。一見コワソ〜〜〜ですが、やさしい教官です。安心して何でも質問して下さい。どうぞよろしくお願い致します。

定期運送用操縦士 (ATR) 教育証明
航空級無線通信士

- S 5 L 4 より営業課に吉永俊啓が入社致しました。主に航測の撮影を担当致します。よろしくお願い致します。

